

学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

学校名	厚木清南高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制・定時制・通信制
-----	----------	------------------	-------------

1 学校のミッション

<厚木清南高等学校（全日制）>

○ 全日制の課程単位制普通科を設置する高校として、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえ、多様な選択科目から生徒が主体的に選択履修することができる単位制の利点を生かしながら、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるよう、学力の育成、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。

○ 自律した人間の育成に向けて、フレキシブルスクールとしての柔軟な学びのシステムを生かし、多様な学習者が共に学ぶ場において、コミュニケーション能力を伸ばし、他者への理解を深めることにより、個性の伸長を図り、主体的に学び活動する意欲と創造性を高めるよう教育活動を展開する。

○ 柔軟で多様な学習システムを活用し、基礎的・基本的な知識・技能を習得し、それを活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養うことができるよう、主体的・対話的で深い学びを進めるなど不断の授業改善の実施等、教育活動の充実に取り組む。

<厚木清南高等学校（定時制）>

○ 定時制の課程単位制普通科を設置する高校として、生徒の多様な特性や地域・学校等の実情を踏まえ、多様な選択科目から生徒が選択履修することができる単位制の利点を生かしながら、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるよう、学力の育成、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。

○ 自律した人間の育成に向けて、フレキシブルスクールとしての柔軟な学びのシステムを生かし、多様な学習者が共に学ぶ場において、コミュニケーション能力を伸ばし、他者への理解を深めることにより、これからの社会に求められる資質・能力を育成するための教育に取り組む。

○ 柔軟で多様な学習システムを活用し、主体的に学び活動する意欲を育むことができるよう、主体的・対話的で深い学びの実現をめざした不断の授業改善を行う等、教育活動の充実に取り組む。

<厚木清南高等学校（通信制）>

○ 通信制の課程単位制普通科を設置する高校として、生徒の多様な特性や地域・学校等の実情を踏まえ、個別のニーズに応じた科目選択による柔軟な学びを実現し、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるよう、学力の育成、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。

○ 自律した人間の育成に向けて、フレキシブルスクールとしての柔軟な学びのシステムを生かし、学びに向かう力、コミュニケーション能力等、これからの社会に求められる資質・能力を育成するための教育に取り組む。

○ 柔軟で多様な学習システムを活用し、主体的に学ぶ意欲を高めるとともに、基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれらを活用する力を育成することができるよう、主体的・対話的で深い学びの実現をめざした不断の授業改善を行う等、教育活動の充実に取り組む。

2 学校教育目標

○自分と向き合い、学ぶ大切さと、楽しさを理解し、学びつづける人を育てる。

○多くの人と関わりながら、まごころを込めて行動できる人を育てる。

○社会の中で自立し、自分らしい生き方をめざして努力する人を育てる。

3 計画策定時点での課題

○柔軟で多様な学習システムの有効活用に課題がある。

○学習の継続に課題を抱えている生徒へのきめ細やかな支援が必要である。

○教員の業務負担の軽減を図るため、働き方改革の取組や、三課程一体の連携強化を引き続き推進する必要がある。

○一人一台端末導入に伴い、ICT機器の効果的な活用に向けて、組織的な研修と授業改善を進める必要がある。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○柔軟で多様な学びのシステムを活かした教育活動を推進する。 ○学ぶ大切さと、学ぶ楽しさを経験させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課程間併修等の多様な学びのシステムの有効的な活用について検討する。 ○課程や教科を超えて情報共有を行い、ICTを利活用した授業研究の推進、授業環境の整備を行う。
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○誰もが自分らしく過ごせる安全・安心な学習環境を実現する。 ○生徒の主体的な活動を充実させ、協働する力と自己肯定感を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒情報の共有化を進め、SC、SSW、その他の校内外の関係機関との連携を図りながら生徒を支援する体制を構築する。 ○生徒の状況に配慮し、職員全体の協力体制を充実させて、学校行事への主体的な参画を促す。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○高校生活の意義を明確化し、キャリアを適切に形成していくための支援を行う。 ○複雑化する進路選択に対応しうる相談体制を構築し、進路希望を実現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「テーマ研究」の内容を毎年見直し、より一層の充実を図る。 ○三課程の連携を強化するとともに、SCC、SSW、外部機関との連携をより一層進め、生徒に寄り添った進路相談を行う。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ○社会に開かれた教育課程の実現に向けて、地域等と連携した教育活動を推進する。 ○学校の魅力・特色の校外への情報発信を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域等との連携協働について多様な在り方を工夫する。 ○学校ホームページや学校説明会等でフレキシブルスクールとしての本校の魅力と特色を積極的に発信する。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒が安全・安心に学校生活を送れるように教育環境を整備する。 ○教員の働き方改革をさらに進め、教育活動の充実につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内の美化・安全確保に常に留意する。また有効な防災マニュアルを作成し、実践的な防災訓練を実施する。 ○校務の効率化を図り、教員が余裕を持って生徒と向き合える時間を確保する。